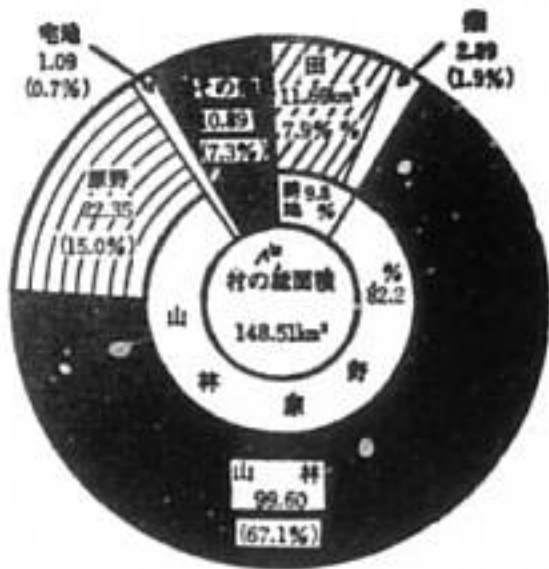




世帯と人口	
世帯数	1,569世帯
人口	7,148人
男	3,502人
女	3,646人
前月に比し世帯は1の減 人口は同数	

財政	
一般会計	457,470千円
特別会計	117,325千円
国保	93,370千円
内訳	黒診 927千円
簡水	12,615千円
玉財	10,413千円

東由利村報

No. 172 1971・11・1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可

建設概要を配布

中学校校舎の建設概要を冊子にしました。これには、工事の規模、資金調達の内容、校舎、寄宿舎の平面図などが記載してあります。近く各家へ配布の予定です。

【写真説明】上から①内外の来賓三五〇人余、全校生徒五



村民期待の統合中

二億五千万投じて完成

東由利中学校校舎の完成を祝う落成式は、ぬけるような青空に紅葉が映える十月十九日、同校体育館で行なわれた。出席者は知事代理、県の狩野企画室長、佐藤、木内、橋岡、今野の四県議ら内外三五五人。

式は一〇時三〇分、同校ブラスパンド・クラブの校歌演奏、出席者全員起立しての、君が代斉唱にはじまり、伊東君が代斉唱にはじまり、伊東

助役が工事報告を行なった。ついで感謝状贈呈はつぎの方々に贈られた。

校舎・寄宿舎・水泳プールの建築設計を担当した。田口の建築設計事務所。同じく校舎・寄宿舎・水泳プールの設備設計を担当した株式会社第一設計事務所。校舎建設工事を担当した株式会社浅沼組。寄宿舎建設工事を担当した佐藤徳市氏。校舎、寄宿舎

の設備工事を担当した山二建設工業株式会社。校舎、寄宿舎の電気工事を担当した本荘電気工業株式会社。工事の現場監理を担当した一級建築士の平川良市氏。寄宿舎調理用機器を担当した秋田科学物産株式会社。用地提供をした木島好元氏ほか五〇人の土地提供者。

このあと、佐藤教育委員長から、同校生徒、職員に対して

社会人の素地を

式辞要旨

村長 小松 栄 男

本日は知事代理として、狩野企画室長をはじめ県議の各先生、県教育庁からは保坂参事、坂田先生、村内外多数の出席をえて、東由利中学校新校舎の落成式を挙げられることは、全く光栄かつ感激である。

本村長年の懸案であった統合中学校は、村民多数の理解と議会、教育委員会の熱心な推進により、去る四十三年、基本方針を決定、

本日は知事代理として、四十三年から第一期工事に着手したのである。

ここ台山の地は、統合中学校にとって、全くふさわしい土地であって、また本村に残された、ただ一個所の台地であり、旧両村の接点であったことを思うと、実に恵まれた場所というべきである。幸い五一人の土地所有の方々には、快く提供してくだされ、理想の地に理想どりの校舎を完成できたのである。

施工者の浅沼組には、誠実にあたっていたいただき、現場の若い職員には、役場の職員と、和気あいあいのうちに工事の進行にあたっていただいた。

なお設計管理にあたられた、田口建築設計事務所また、第一設備設計事務所には、親身な指導をいただきこのとおり立派な校舎が完成したのである。

そのほか関係の方々から東由利村のために、熱心な指導があったことには、感謝の念を新たにしている。

県教育庁には三年間、慣れた事業に対して、全面的な指導をいただいたのである。

誇りある校風に

校長 佐藤 敏 英

一九七一年一〇月一日は、私も生涯の歴史の輝かしい一頁となった。七〇年代は二世紀をむかえる激動の時代だといわれており、この大事なときに、こんなに立派な新しい学校を村がつくってくれたことは、生徒たちよ、あなたたちの夢の実現に、勇気をもってこの激動の波をのり越えよ、という村民の教育第一の考えによると思う。

佐藤一斉という幕末の学者の教えに、社会に貢献できた人々は、小さいときから勉強しとおした人なんだと、「小にして学べば壮にして成す」とあり、壮にして学べば老いても衰えず、老いて学べば死して朽ちず、こう述べている。私はこの学校を、生涯教育の場を築く学校にしたいと考えている。

立派な学校にふさわしい校風の開拓、創造は、容易な業ではないが、私どもには、村を愛し学校に愛情をもち、誇りある校風を後輩に受けつがせる責務があると思う。生徒、職員は力を合わせ努力して、内容の充実した豊かな教育を行なうことを誓って謝辞とする。

新しい友と意義を胸に

生徒代表 佐藤 晴 記

よかったという気持ちに、大きく転じた日々を、いま過しています。新しい校舎での新しい生活、恵まれた環境と自然の中で中学生生活をおくれることは、進展する東由利の歴史の一頁を大きくかざることもなろうと

考えます。この意義を一人一人が確め、私たち自身が立派な校風と伝統を築く覚悟を新たにしました。

東由利中ここにあり、と胸をはって誇れるよう努力することを誓います。

教育効果の向上に

僻地の制約を排除

県教育庁保坂参事 近年国の奨励もあって、教育効果の向上のため、全国的に小規模学校の統合が、数多く行なわれているが、とくに僻地の場

事を担当した佐藤徳市氏。④以後方に建つ寄宿舎。



